

その他の食料品製造業における飛来・落下災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	20～21	製造盛付ラインで番重を台車に載せて移動中、天井のコンセントから伸びた寿司巻機の配線に番重が当たり、上部2段が落下し、頭部右部を負傷した。	67	100～299
1	8～9	工場内において、米のフレコンパック（1,000kg）をクレーンでつり上げ、米のフレコンパック下部の紐をほどき中身を排出する作業中に、クレーンにつるす紐が切れ、米のフレコンパックとガードパイプの間に頭が挟まれた。	56	100～299
1	8～9	工場の屋根に積もった雪下ろし作業の準備をしていたところ、下屋に氷がぶら下がっていたので、棒で落とそうと叩いたところ、氷の破片が頭の上部にあたり、頭の上部が切れた。	58	30～49
2	18～19	包材の交換作業のため、外装を外そうとしたところ、包材が足に落ちた。作業台での交換作業を止め、番重に横置きすることで包材を傾けた状態で作業することをなくした。	19	100～299
2	8～9	厨房非加熱室にて野菜の下処理のために野菜をカットしていたところ、敷いていたまな板がだんだんずれてきて、右脚つま先部分に落ち負傷したものである。	73	100～299
3	11～12	本社工場内において、フォークリフトのフォーク（積荷台部分）の高さを変更するため、左側のフォークを外してフォークレールに掛けたが、掛け方が浅かったのでレールよりはずれて落下し、左足を負傷した。	64	10～29
3	10～11	包装室にて空番重を台車ごと移動する際、上段の番重がしっかり重ならずずれていたため、はずみで上段の番重が落下し、奥で作業していた検品者の頭上に落下した。	42	300～499

3	17~18	キッチンにて清掃中、ラックの上段から天板が落下し、右足親指付け根と爪の間に当たり、不全骨折を負った。	21	100 ~ 299
3	2~3	工場内盛付室で、生産終了後の清掃作業時に、清掃に必要な洗剤を補充するため洗剤の供給機を触っていたところ、供給機のホースが抜けてしまい、ホースに残っていた洗剤（原液）が飛沫し右目に入り、右眼角膜上皮剥離と右眼角膜化学外傷を負った。	58	100 ~ 299
3	3~4	盛付第3レーン先頭付近で、使用済みの浅番重をコロの付いた台車に乗せ運搬中、高く積み過ぎた番重の最上部が3レーン先頭にあるエアーの先端に引っ掛かり落下し、番重が頭頂部に当たり負傷した。	58	300 ~ 499
4	6~7	カルビのトッピング作業中、ゴマ振りの作業をしていた時に、左側にあった作業台の設置が不安定だったため倒れ、左足小指の先端を骨折し裂傷を負った。	64	300 ~ 499
5	18~19	工場内の作業場で、業務用フードカッターを使用した野菜の加工作業が終わって後片付けをしている時に、キャスターの付いた作業台に載せてあったフードカッター（15kg）を所定の場所に片付けようと移動させたところ、キャスターの一つが壊れ作業台が傾きフードカッターが足の上に落下し、左足親指の付け根を骨折した。	60	30~ 49
5	15~16	工場接種室にて、接種ライン第3レーンのトンネル内にある殺菌灯の交換作業を行っていた被災者が、殺菌灯交換後ステンレス製トンネルカバーを取付けする際、カバーの左側を押さえていた被災者の手が滑り補助として同僚が右側を押さえていたが押えきれず落下し、カバーの左下角部分が被災者の右足親指部に当たり骨折した。	52	100 ~ 299
5	15~16	工場内の加熱ライン充填場で、ステンレス製の容器付台車の蓋（1m×1.5m程の大きさ、約4kg）を清掃中に手が滑り、30cm程の高さから落下し、右足先に当たり、右足拇指付近を打撲した。応急処置で様子を見たが、内出血と痛みがひどくなった。	35	500 ~ 999
		開発テストキッチンでほぼ満タンに入ったお茶を沸かした片手鍋を移動させよう		300

5	10～ 11	として鍋を持ち上げた際に、鍋が重たくバランスを崩して左足にお茶（熱湯約90℃）をこぼしてしまった。	37	～ 499
5	14～ 15	洗浄室にて空の食缶を載せた台車を運搬する作業中、台車の持ち手部分に掛けてあった食缶が外れ、右足母指に落下した。	68	50～ 99
5	14～ 15	野菜の洗浄処理に使用している重しをフックに掛けたところ、ネジが緩んでいたため、重しが右足の親指に落ちた。	19	300 ～ 499
5	10～ 11	工場内において、排水溝にパッキンを落してしまい、探すために排水口上の鉄板（50cm×50cm、約10kg）を持ち上げて立て掛けていたところ、誤って鉄板を足の上に倒してしまった。	62	10～ 29
6	15～ 16	会社の敷地の草刈りをしていた時に、左眼に何か当たり負傷した。	57	10～ 29
6	3～4	工場内において、炊飯機から炊き上がったご飯釜をほぐし機へ流すためのレーン上で、釜が止まってしまったため、レーンの奥から釜を押したところ、レーン上で止まっていた別の釜が落下した。落下した釜を引き上げて、釜から飛び散ったご飯を片付けていたところ、その作業に気づいていない別の同僚が、同じように釜を奥から押したため、別の釜が落下し、その際に右腕と右指に釜が接触し負傷した。	69	30～ 49
6	11～ 12	検収室の器具洗浄機でバケツ等の洗浄作業中、洗浄機のカバーがしっかりはまっていなかったため外れ、左足に落下し、左足小指を骨折した。	54	50～ 99
6	13～ 14	食品製造工場において、食肉の解凍作業場から加工場へ台車を使用し食肉を運搬する際、台車の車輪が滑ってしまい、積載していた食肉が入ったケースが左足外側へ落ち、左足小指を不全骨折した。	28	300 ～ 499
7	15～16	被災者はコミットロールの組み立て作業を行っていた。カッティングヘッドの取り付けでスパナでボルト締め付けを行っていた際に、スパナがボルトの頭から外れた拍子にスパナが手から外れ、右目に当たった。	56	100 ～ 299
		当社工場内調理バット洗浄室内に於いて、バットを洗浄する際に、積んである		100

7	10~11	バットを取ろうとしたところ、バットの中に予備洗浄した水が入っていたため重く、落としてしまった時に左足親指に当たった。	54	~ 299
7	22~23	製造2課現場おにぎりラインにてトッピング作業をしていた。作業場上部の天井が一部落下し頭部に破片が当たり負傷した。	43	~ 300 499
7	7~8	第3工場豆腐の資材置場において右手にソフト豆腐用フィルム巻（4kg）と左手に2P豆腐用フィルム巻を両手に持って運搬用台車に載せようとした所、右手に持ったフィルム巻が滑り右足の小指の上に落とし骨折してしまった。	51	~ 100 299
7	13~14	サプライ施設内の調理室にて、回転炒め機を操作中に、蓋を棚から取ろうとした際、蓋が2枚重ねになっているのに気がつかず、下に重ねてあった蓋がずれて左足の甲に落下し、負傷した。	54	—
7	9~10	就業している工場内において、パレットの移動中に、手を滑らせパレットが転倒した。その際、右足甲がパレットへ接触し、打撲した。	34	50~ 99
7	9~10	馬鈴薯の別選作業場でスチールコンテナをセットしている際。足元が濡れていて足が滑り転びそうになったためスチールコンテナの小秤を右手位から落とし右足に落下したもの。事故の際安全靴を着用していなかった。	58	10~ 29
7	14~15	おにぎり成型室において、成型機の組立作業中に、機械の上に置いた樹脂製の側面カバー（30cm×70cm×2.5cm、4kg程度）が滑り落ちてしまい、右足先にぶつかって負傷した。	55	~ 100 299
7	16~17	工場3階洗浄室エリアにて、計量分割機の部品を洗浄している際に、部品の一つである上コンベアドライブローラーが受け取り台より落下し、自分の右足に直撃した。	60	50~ 99
7	15~16	当社工場たこ焼きラインにおいて、生産終了後の清掃作業を行っていた。たこ焼き用のフライパン（縦30cm、横70cm、鉄板15kg）を洗浄のため、当社研修生と2人で持ち上げたときに、研修生はしっかり支持していたが、被災者が手を滑らせ、鉄板を自らの左足甲の上に落とし負傷した。	61	50~ 99
		スライサーを洗浄するため、ステンレス製の部品（重さ4kg）を外して洗浄後、		100

7	1～2	元に戻すときに手が滑り、その部品が左足に落下し、親指を負傷した。	35	～ 299
7	13～ 14	会社敷地内の工場裏にて、間知ブロック（縦30cm×横60cm）の積み下ろし作業をしていた。5tトラック車に積載されてブロックを、ユニック車のクレーンをリモコン操作し、ワイヤーフックで吊り上げ、重油タンクの側の地面に積み下ろした。その際、地上から2cm程吊り上げた状態のブロックから数秒目を離してしまい、リモコン操作を誤ったため、自分の左足へブロックが落下し被災した。	50	1～9
9	11～ 12	被災者は、ホッパーと粉コン位置を調整するために、ホッパー下部フレキを持ち、左右に揺らしながらホッパー下降させている際に、シリンダーからホッパーが脱落し被災者頭部に激突した。	48	～ 9999
9	7～8	加工場内で野菜を入れるコンテナ（約1kg）が高く積まれた台車を前に押そうとした際に、積まれていたコンテナが頭に落下し、右頭頂部挫創、頸椎捻挫の負傷した。	55	50～ 99
10	15～ 16	工場内のカット洗浄室でスライサーの刃の点検をしていた時に、誤ってスライサーの刃を落として、左足膝関節部の上にスライサーの刃が当たり怪我をした。	31	300 ～ 499
10	18～ 19	食器を洗浄中、トレーを足元に落としてしまい左足親指に当たり負傷した。	66	10～ 29
10	22～ 23	ステンレス製の台車を洗浄室に運搬中に補強するため設置してある鉄板にコマが引っ掛かり、2段積みの上の台車が落下して左足に当たった。	41	300 ～ 499
10	5～6	番重に入れられた商品の焼きおにぎりを冷却するために真空冷却機に入れようと台車を押した。その時、キャスターが進行方向に対して直角になり、前方に重心がかかり番重が倒れそうになった。転倒を防ごうと番重を支えたが支えきれず、肩に当たり負傷したと思われる。	54	300 ～ 499
11	11～	番重洗浄室にて番重を洗浄機に投入する作業を行っていたところ、番重をローラーの上に置いた際に番重の押し込みが弱く戻ってきてしまった。番重が洗浄機	64	500 ～

	12	に入ったか確認せず違う作業に移ってしまったため、番重が戻ってきていることに気付かず左足に落下し左足小指を骨折してしまった。		999
11	11~ 12	2階製造の調味粉投入室で、開梱が終わり段ボールが乗っていた樹脂パレットを片付ける時に、パレットの上面から手を入れ（通常はリフトの爪を挿入する2ヶ所に手を入れる）持ち上げパレットを立ち上げている最中に、床に面している下辺が滑ったため、とっさに押さえようとしたところ右膝と左手小指を打ちつけて負傷した。	52	100 ~ 299
11	10~ 11	盛付室（Cライン）で箱取の作業中、積み上げられた製品コンテナ（150cm）を取ろうとしたところ、1個を取ったつもりが下に2つ引っ付いており（合計3個取った事になる）、そのうち下の2個が、約160cmの高さから右足の甲に落下した。すぐに社員に報告し、その日は早退した。翌日も痛みが引かず病院を受診した。	38	100 ~ 299
11	12~ 13	工場内で作業をしていた時に、近くで別の作業をしていた社員が誤って鉄の枠を30cm位の高さの台から落としてしまい、右足の甲に接触した。	23	30~ 49
12	11~12	工場の排水溝のグレーチングを持ち上げて掃除をした際に、グレーチングを戻そうと下ろした際に手を滑らせて落とし、右手中指の腹をグレーチングと床に挟んで切った。	23	10~ 29
12	8~9	工場2F加熱室（加熱調理作業室）から台車にて番重（およそ400×700mm×1,500H、プラスチック箱）容器を運搬中、冷蔵庫内を通行していた所、運搬していた台車と保管台車が接触した。その際、身体が前のめりになり、運んでいた番重が倒れ、左目に直撃し、左まゆげ下、鼻の頭に切創を負った。	44	500 ~ 999
12	16~17	工場内において、もやしの袋を詰める包装機のフィルムを交換する際に、フィルムの筒の中に入れる芯（重さ約2.5kg）を誤って左足親指の爪部分に落としてしまった。	34	10~ 29
12	19~20	工場内の6連成型機付近で、投入装置で具材容器を上げている最中、登り切る手前でリフトが動かなくなり、再度スイッチを押したところ急にリフトが下がり、容器が落下し、左手人指し指に当たり亀裂骨折した。	58	50~ 99
		当社製造一課フロアにて、作業台の上に筋切り機をのせ、鶏肉の筋切りを行って		100

12	3~4	いた。その際、作業台より筋切り機が滑落し、筋切り機が足の上に落下した。	60	~ 299
12	10~11	ファクトリー内の開梱エリアで、10kgの冷凍食材が入った箱を開梱中、手が滑って足の上に落とし、左足親指に打撲を負った。	58	300 ~ 499
12	7~8	園の門を閉めているときに、閉める勢いで門に付いている鍵が落ちてきて、左手人差指を挟み、切ってしまった。	43	1~9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html